

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

今月の表紙

今月号の表紙は、第50回町民大運動会の中の10人11脚の写真です。他にも綱引きやリレーなどいろいろな競技があり、どのチームも優勝を目指してがんばっていました。(区對抗の結果、関連記事は13ページ)



サークル
紹介

この
指
とーま
れ

91

手話サークル 「たんぽぽ」

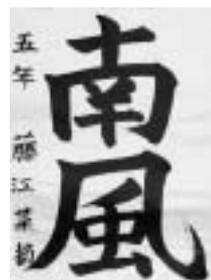
手話って何？それは、ろう者の使っている言葉です。私たちは、日常生活を送るなかで、自然に音声による言葉を身につけ、周囲の人たちとのコミュニケーション手段の一つとして使っています。でも、ろう者は、耳が聞こえないために音声による会話が困難です。さらに、日本語の習得も十分にできないため、筆談でのやりとりも困難な場合があります。そのため、ろう者にとって手話はスムーズなコミュニケーション手段として、かけがえのないものです。私たち

は、手話を学び、ろう者と楽しく交流する中で、歴史や社会生活の中でのさまざまな差別や偏見のあることを知り、それらをなくすためのいろいろな活動をろう者とともに進めています。サークルは、夜の部は毎週金曜日午後7時から9時まで、昼の部は毎週水曜日午前10時から正午まで中央公民館で行っています。あなたも手話を学んでみませんか？お待ちしております。

代表者 ^{よねづ たけお} 米津 毅夫 ☎62-0159

この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

みんなの作品展!



【習字 「南風」】
藤江 菜摘さん



【習字 「母を招待」】
日高 恵理子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで！)

田川町の方言

「やかましい」

師走。そう聞いただけで、何か気ぜわしくなりますよね。「稼ぎ時だで、やかましゅうなきやいかわわ」

「稼ぎ時だから、忙しくなければ困るよ」

「やかましい」は、普通「うるさい」と同じ意味ですが、この地方では「忙しい」意味でも使われます。

さて、よそのお宅を訪ねるとき、まず何と言いますか？「ごめんください」、「朝なら「おはようございます」、昼なら「こんにちは」、夜なら「こんばんは」ですね。でも、この地方では「ごめんやす」のほか、「おあつーござんす」とか「おさむーござんす」、「いーあんばいでござんす」と、気候や天候によってあいさつを変えています。さらに、そのお宅が法事などで取り込んでいるときは、「おやかましゅうござんす」と相手を気遣いましたが、これら味なあいさつも今では聞かれません。

(文・じゅん)

青春トークリレー

第153走者



おの よしかず
小野 義和さん

六栗区在住 23歳 バイク製造
身長 175cm O型

こんにちは。僕は今バイクを作っている工場に働いています。忙しいけど、やりがいのある仕事で満足しています。仕事にも友人にも恵まれ、充実した日々を送っています。今の環境に感謝して日々大切に過ごしていきたいと思います。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



生きがい
センターだより

「某日某日」

血圧測定の巻

生きがいセンターのロビーには、自動血圧計が置いてあります。毎朝会員さんたちが血圧を測り、体の調子を見て、仕事にとりかかります。
「今日は調子いいな。血圧がちょうどいいよ」
「わしは、少し高かったな」
「出掛けにおっかさんとけんかでもしたんだろ。それが原因だよ。心配ないさ」
「ちよっとカッカしたからね」

「あたりかね」
「そいでも、今日は気をつけて仕事しよう。調子のいいあなたにがんばってもらおう」
「わしは病院で測ってもらったとやけに高くなる。なんでかね？」
「白衣恐怖症かね。医者を見ると心臓がバクバクするんだろ」
「いや、医者はいいけど、看護婦さんに測ってもらった高いんだよ」
「あんたそりゃー、きれいな看護婦さんに緊張しとるだけだよ」
「そうかね。大きく深呼吸してもつかい測ると下がるでええけど」
「ここで、一人で勝手に測るのが気楽でいいね」



「やっぱり、緊張するのはよくないよ」
「今日も、会員さんたちは体に気をつけながら元気に働いています。」



編集者のひとこと

ちよと
ひとこと

先日、広報の取材で中学生の職場体験の写真を撮りに行きました。消防士、大工、介護福祉士などいろいろな職場に行ってきましたが、皆それぞれ仕事を一生懸命やっています。実際に仕事を体験することは、将来の仕事を決める上で、とても重要だと思います。一つでも多くの仕事を知り、自分に合った職業に就いてもらいたいと思います。また、僕も子どもたちが「将来、広報を作ってみたい」と思ってくれるような、魅力ある広報を作っていきたいです。

今月の特集は、「三河地震に襲われた日」です。平成7年1月17日阪神淡路大震災が起きました。当時神戸市須磨区や長田区を訪ね一面の更地や、ブルーシートのかげられた屋根などを見、あたりのにおいなどから虚無感が襲ってきたのを今でもリアルに思い出します。12月3日から11日まで図書館ギャラリーで、「深溝断層三河地震の遺した爪痕」が開催されます。家族でぜひお出かけください。

(N)